

非常にシンプルなテクニックである代わりに奥が深く、正確な方向と接触、**スピード**が要求されます。このテクニックは、別名「ホール・イン・ワン」と呼ばれています。

このテクニックは7本ある首の骨の中でも1番上に位置するアトラスと呼ばれる部分を矯正する時のみに使用します。実はこのアトラスと呼ばれる首の一番上に存在する骨は、全部で24本ある背骨の中でも一番脳に近い為カラダの症状と関係する骨であり、脳に行く血管も頸椎の中を通っているので神経系の問題だけでなく血管系の症状も取れる事もあります。

ターゲルリコイルテクニックの施術

痛み・症状などの原因を作るサブラクゼーションを取り除く際にのみ用います。

首の一カ所を無理なく無痛に、しかも瞬間にアジャストメント（調整）します。

上部頸椎（頸椎1番と2番）の位置異常は、他の背骨よりも極めて影響力が大きい事を発見し、脳から全身に行き交う神経が、**一番最初**に妨害されるのが頸椎1番であるとなりました。

つまり、神経機能が脳の出口から機能を低下させてしまうと、頸椎3番より下の骨は、どの様に歪曲していようとも、補正に過ぎないという考え方でした。

勿論仮説だけではありません。

米国カイロプラクティック「B.J. Palmae clinic」における結果
－ 患者データ－

上部頸椎1か所だけの調整で改善率

年間総患者数11564名

頰椎 1 番を調整	9167 名(年間)	764 名(月間)	79.27%
頰椎 2 番を調整	2073 名(年間)	173 名(月間)	17.93%
その他の椎骨を調整	296 名(年間)	24.25 名(月間)	2.557%
完全に良くなった人	6593 名(年間)	549 名(月間)	57.02%
良くなった人	4218 名(年間)	352 名(月間)	36.47%
TOTAL		57.02+36.47=	93.49%

良くならなかった人 753 名(年間) 63 名(月間) 6.51%

当時この「ターグルリコイルテクニック」のみの治療で、どれだけレントゲン写真や、心電図、尿検査、血液検査の数値が改善するのかを検証。すると、投薬も一切行わずに「病氣」すらも改善していたのです。これは医師の診断の元に出た結果です。最近では、シカゴ大学の医師とカイロプラクターが共同研究した論文によると、これらのアプローチによって、「高血圧が改善」されることが証明されました。

前述で述べましたように**アジャストメントスピード（調整）が命のテクニック**です。これは身体が防御反射を働かせる前に、全てを完了させなければならないからです。コンタクトも素早く引き上げます。